



民児協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2020年(令和2年)1月15日 第84号



竜神大吊橋（常陸太田市天下野町）

（茨城県提供）

目次

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| ● 新春のごあいさつ（会長）…………… 2 | ● 県民児協主催の研修会報告…………… 5 |
| ● 第38回県民生委員児童委員大会開催報告 …… 2 | ● 地区民児協だより |
| ● 新年あいさつ（知事）…………… 3 | ・ 笠間市…………… 6 |
| ● 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会に参加して …… 3 | ・ 鉾田市…………… 6 |
| ● 民生委員・児童委員のための相談技法研修会に参加して …… 4 | ・ 稲敷市…………… 7 |
| ● 全国主任児童委員研修会に参加して…… 4 | ・ 坂東市…………… 7 |
| | ● 事務局だより …… 8 |
| | ● 編集後記…………… 8 |

新春のごあいさつ



県民児協会長 竹内 昌信

新年あけましておめでとうございます。

本年は干支の初め「庚子（かのえね）」で、古来より新たな活動の年ともいわれます。委員の皆様には、今年一年間希望に満ちた幸運が訪れますことをご祈念いたします。

昨年は温暖化現象により、国内で自然災害が多発しました。特に関東地方に上陸した台風15号・19号は県内各地に想像を絶する爪あとを残す被害をもたらしました。被害に遭われました皆様にご配慮を申し上げます。

また、災害発生時より地域に対し、きめ細かい支援を続けられました民生委員・児童委員の皆様には深く感謝をいたします。

さて昨年12月の一斉改選により、

福祉の奉仕に意欲を抱く民生委員・児童委員の皆さんが厚生労働大臣より委嘱され就任致しました。新任委員の方は、地域の人の良き相談相手・頼られる委員として、再任された委員の経験を十分に聞き、担当地区の人々に対し「誠意を持って目配り・気配り」に心掛け、さらに行政との連絡を緊密にして活動が続けることが重要です。その業績がやがて自分の喜びと感動の人生の積み重ねとなります。そして民生委員・児童委員を永く継続する力量を生み出し、自分の人生にも大きな宝となります。結びに今後も、茨城県民児協の活動方針に對しまして、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

第38回茨城県民生委員児童委員大会開催報告

県民児協評議員 岡田 清

第38回茨城県民生委員児童委員大会が令和元年10月31日、ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールに於いて、盛大に開催されました。

この時期、超大型台風が多発し、12都県にわたり想像を絶する甚大な被害を与え、尊い命を失われた方々に謹んで御冥福をお祈りし、被災された方々に御見舞いを申し上げます。一日でも早い復興をされます様、心より御祈念申し上げます。

式典の前には、水戸出身20歳の口笛奏者、加藤万里奈氏の演奏があり、大会に相応しく華を添えて頂きました。感激の一言でした。

式典には、茨城県福祉担当部長・関清一様、茨城県社会福祉協議会会長・森戸久雄様をはじめ大勢のご来賓の方々に、ご臨席を頂きました。

物故民生委員児童委員に対する黙とう、民生委員児童委員信条朗読に続き県民児協・竹内昌信会長の主催者挨拶では、退任する委員の方が後任となる方に「つなぎ役」として伝えてほしいこと、改選後も引き続き

民生委員を務められる方に「人びとの支え役」という心構えで行動してほしいなどの話がありました。

顕彰では、茨城県民生委員児童委員協議会会長表彰として688名の方が受賞されました。

来賓祝辞及び来賓紹介、受賞者代表の謝辞に続き、大会宣言を満場一位で採択した後、最後に「花咲く郷土」を斉唱し、大会は終了致しました。



新年あいさつ



茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年は多くの自然災害が発生し、茨城県内でも多くの方々が被災されました。被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げますとともに、引き続き全力で復旧・復興に取り組んでまいります。

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域住民の方々に対する様々な相談や援助活動を通して、社会福祉の向上に多大なご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年12月には一斉改選が行われ、再任された皆様、新たに委嘱された皆様には、本県の地域福祉の推進役として、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、人口減少や少子高齢化、デジタル経済の進展などにより、

社会情勢が急速に変化する中、私は「スピード感」と「選択と集中」を信条に、困難な政策課題にも臆せず取り組んでまいりました。

こうした中、企業誘致や医師確保など、取組が結果に結びついてきているものがある一方で、まだ実績をあげるに至らない課題もあることから、本年は、よりスピード感を持つて対策を進めていくとともに、新たな課題についても積極的に対応してまいります。

「茨城県地域福祉支援計画」に基づく施策展開を含め、引き続き「活力があり、県民が日本一幸せな県づくり」に挑戦してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、茨城県民生委員児童委員協議会の更なるご発展と、皆様の益々のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会に参加して

県民児協理事 宇佐美 吉郎

令和元年7月4日、5日の両日、神奈川県川崎日航ホテルにて、第79回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会が、関東ブロックの11都県と8市から288名（本県からは竹内会長以下9名）が参加し、開催されました。

1日目には、開会の式典の後、全国社会福祉協議会民生部部長の佐甲学氏による基調報告がありました。

報告では「地域福祉・子ども子育てをめぐる動向と民生委員・児童委員活動」「民生委員・児童委員活動の重点課題と全県児連の取り組み」の2本の柱で、私たち民生委員が日ごろ直面している課題や対処の仕方などに、大いに参考になるお話がありました。

午後は、花園大学客員教授水谷修氏の「優しさと勇気の育て方―夜回り先生、いのちの授業」と題した記念講演でした。夜間高校の教員として体験した、いわゆる非行少年、少女の赤裸々な実態や、文字通り命を懸けて格闘した日々が、迫真の語り

口で語られました。

2日目には、4つのテーマで分科会が開かれました。それぞれ4人ずつの実践報告を受けて、質疑応答や意見交換が行われました。本県からは、第4分科会の「地域のつながり、地域の力を高めるために」のテーマのもと、県民児協の加藤理事が那珂市の「あん・しん・ねっと事業」について発表しました。

大変、有意義な研修会でした。



民生委員・児童委員のための 相談技法研修会に参加して

神栖市連合民児協会長

今 郡 利 夫

令和元年度の民生委員・児童委員のための相談技法研修会が8月27日～28日の2日間、横浜市新横浜プリンスホテルで茨城県の2人を含む、全国から137名が参加して開催されました。1グループ6名で23グループに分れ2日間とも元・梅花女子大学准教授植田寿之氏を講師にご指導頂きました。

1日目は相談援助の視点と相談・支援活動のポイントについて研修ビデオで学習し、事例についてグループで話し合い、その結果を半数のグループが発表し講師からアドバイス頂きました。相談・支援活動のポイントとは、きっかけづくり、相手の立場に立つ、相手の思いを受け止める、という事でした。

交流会は多くの方々と交流ができて、有意義な一時を過ごす事ができました。



2日目は、傾聴の基本、相談面接技法の講義を受けました。相談面接のロールプレイを行い、その結果を半数のグループが発表し、2日間の研修が終了しました。

この研修で得た貴重で有意義な体験を、今後の民児協活動に生かせるよう努めてまいりたいと思います。

全国主任児童委員研修会に参加して

つくばみらい市主任児童委員

間 宮 正 孝

令和元年7月31日～8月1日の日程で令和元年度全国主任児童委員研修会(東日本)が千葉市の「東京ベイ幕張ホール」を会場に開催されました。

1日目は厚生労働省柴田哲男氏の行政説明の後、明治学院大学の松原康雄学長より「主任児童委員創設25年～児童委員・主任児童委員活動への期待～」と題したご講義をいただきました。シンポジウムは、「子どもを守り子育て・子育てを地域で支えていくために～児童虐待の早期発見・予防に向けて～」をテーマに

立川理事の高橋久雄氏のもと、(社福)厚生福祉会の佐々木美緒子氏、横浜市南区福祉保健センターの戸矢崎悦子氏、全民児連副会長の庄司健治氏の皆さんにより、それぞれのお立場からお話をいただきました。

2日目は、3会場に分かれ「全国児童委員活動強化推進方策2017の具体的展開に向けて」をテーマに

分散会となりました。私の参加した分散会では松原康雄先生の指導のもと、日頃の活動の中で連携している人や機関を書き出すというワークショップ形式の取り組みを8名ずつのグループに分かれて行いました。地域は異なっても同じ活動をされている皆さんと一緒に作業をすることで大変有意義な情報交換をすることができ、貴重な経験となりました。



◆県民児協主催の研修会報告

▼市町村民生委員児童委員協議会
会長・副会長合同研究協議会



令和元年度会長・副会長合同研究協議会が、県北・県央・鹿行地域（6月20日、21日）県南・県西地域（6月27日、28日）の2回に分け、370名が参加して、大洗シーサイドホテルにおいて開催されました。

1日目は、前常盤大学コミュニケーション・振興学部学部長・人間科学部教授池田幸也氏による「ボランティアとして 民生委員・児童委員のこれから」と題して話されました。続いて、3単位民児協（6月20日常陸太田市・東海村・銚田市、6月27日美浦村・筑西市・八千代町）における活動発表がありました。

2日目は、県警捜査第二課（二セ）電話詐欺の現状と対策について、県福祉指導課（同和（部落差別）問題）、県障害福祉課（障害者差別解消法・障害者権利条例について）からの行政講話がありました。続いて、県民児協事務局から地域版活動強化方策の策定について説明がありました。

▼市町村民生委員児童委員教室



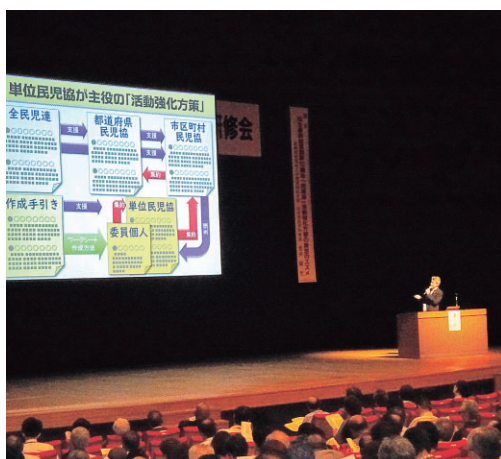
令和元年度市町村民生委員児童委員教室が、県北・県央・鹿行地域（9月12日、13日）、県南・県西地域（9月26日、27日）の2回に分け、363名が参加して、大洗シーサイドホテルにおいて開催されました。

1日目は、泉恵造研修企画工房

泉恵造氏による「把握し、つなぎ、見守る」を推進しよう！」と題して話されました。続いて、3単位民児協（9月12日高萩市・ひたちなか市・潮来市、9月26日取手市・かすみがうら市・結城市）における活動発表がありました。

2日目は、県警捜査第二課（二セ）電話詐欺の現状と対策、県福祉指導課（同和（部落差別）問題）、県障害福祉課（障害者差別解消法・障害者権利条例について）からの行政講話がありました。

▼民生委員児童委員全体研修会



令和元年度民生委員児童委員全体研修会（8月28日）が、965名が参加してザ・ヒロサワ・シティ会館において開催されました。

高崎健康福祉大学健康福祉学部教授 金井敏氏を講師に招き、「民生

委員制度創設100周年「地域版」活動強化方策の策定のススメ」と題して話されました。続いて、県警捜査第二課（二セ）電話詐欺の現状と対策について）からの行政講話がありました。

▼主任児童委員研修会



令和元年度主任児童委員研修会（7月26日）が、330名が参加して、ザ・ヒロサワ・シティ会館において開催されました。

茨城県立茨城学園長 澤田敦志氏を講師に招き、「茨城県立茨城学園の概要」と題して話されました。続いて、3地区代表者（土浦市・稲敷市・古河市）から活動報告がありました。続いて、県青少年家庭課（子どもを虐待から守るために）の行政講話がありました。（県民児協事務局）

協 だ よ り

笠間市

笠間市笠間地区民児協の活動について

前笠間市笠間地区民児協会長 鈴木 守 正

笠間市は、県中央地域に位置し旧笠間市・旧友部町・旧岩間町が合併した人口約7万5千人の自然豊かな所です。

笠間市連合民児協は、笠間地区60名(うち主任児童委員3名)、友部地区59名(うち主任児童委員3名)、岩間地区32名(うち主任児童委員2名)の計151名の委員で構成され、総代会、合同事項別研修会、全体研修会のほか、広報誌「ぬくもり」を発行しています。

笠間地区民児協では、委員は「児童・母子福祉」「高齢者福祉」「生活保護関係」「障害者福祉」の4部会のいずれかに所属し、1年間、部会研修に励んでいます。1年毎に部会を移動します。そうすることで、民生委員の役割が早く理解できるとの考えからです。

月1回の定例会では、福祉課からの諸連絡のほか社協・消費者センター・消防署等の講話があります。その他に、日帰り研修、一泊研修等を行っています。

日常的な活動では、訪問活動がありますが年金、育児、病気、隣人とのトラブル等多様多様で、一朝一夕には解決しないことばかりです。

これからも、私たち民生委員一人ひとりの力は、「微力ではあるが無力ではない。」ということ胸に秘め、委員相互、行政側との連携をより一層密にして、地域の福祉力を高めていきます。



鉾田市

鉾田市大洋地区民児協活動について

鉾田市大洋地区民児協会長 菅 谷 興志雄

茨城県鹿行地域にある鉾田市は、人口4万8千人、民児協は旭・鉾田・大洋の3地区で構成されており、大洋地区は26名(うち主任児童委員2名)の委員で日々活動をしています。

鉾田市全体で見ると、人口は緩やかな減少が続いていますが、大洋地区は定年退職後の田舎暮らしを目的とした小規模分譲地が多く立地しており、東京などの大都市圏から移住してくる高齢者及び高齢者世帯が数多く居住し、地域との付き合いが希薄で近親者が近隣にいないことから、見守りが必要な世帯が増えています。

大洋地区民児協では、東日本大震災で被災した東北地方の訪問を続けています。平成24年から始まり5回目となる今回は、宮城県石巻市へ2度目の訪問となりました。

震源地に近かった現地の老人ホームへ鉾田市産の新鮮な野菜を届け、一緒に健康体操をしたり童謡を歌って交流しました。また石巻市社会福祉協議会を訪ね、震災当時の民生委員児童委員の活動内容を通して、災害時の民児協の対応等を学びました。

大洋地区民児協は、地域住民の一番身近な相談相手として、委員相互の連携の中で情報の共有や交流などを図り、地域の実態を把握しながら、住民が安心して暮らせるよう支援や見守りに取り組んでいきたいと思っています。



地 区 民 児

稲敷市

稲敷市桜川地区民児協活動について

稲敷市桜川地区民児協会長 根本 三好

稲敷市民児協は、江戸崎地区、新利根地区、東地区、桜川地区の4地区において活動しており、桜川地区民児協は18名(うち主任児童委員2名)の委員で活動しております。

現在、稲敷市の人口は、4万人余りで65歳以上の高齢者は、1万4千人を超え、高齢化率は34・6%に達しています。

桜川民児協では、毎年、夏休み前に中学校1校・小学校3校へ、担当地区の委員と会長・副会長が学校訪問を行っています。

また、これまで学校長・教頭・教務主任と行ってきた懇談会を、学校側からの要望を受け、今年は教職員全員と実施しました。

懇談会では、若い先生方を中心に今までにない熱の入った意見があるなど、内容の濃い意見交換となり先生方と情報共有が図れたと感じております。これからも、地域の相談相手として連携を強め、地域力を高めるために推進していきたいと考えております。

令和3年度、桜川地区内の小学校3校が統合し、桜川小学校として誕生します。これからは、3校それぞれの特色を生かした伝統を継承し、桜川民児協として、学校、区長会、関係機関等と情報を共有し、連携しながら地域の皆さんに寄り添い、将来を担う子どもたちの成長を見守りながら活動を進めていきたいと考えております。



坂東市

坂東市連合民児協の活動について

坂東市連合民児協会長 倉持 嘉男

坂東市は、平成7年をピークに人口の減少が続いており、現在、人口が約5万4千人、高齢化率は28・9%に達している状況です。地域社会が複雑・多様化するなかで、地域の現状や課題を把握し、必要な支援へつなげていく民生委員児童委員の活動に対する期待は大きくなっています。

そのような中、坂東市連合民児協では、岩井地区66名(うち主任児童委員3名)・猿島地区23名(うち主任児童委員2名)の各委員がそれぞれの地域で日々の活動に取り組んでいます。

また、坂東市連合民児協では、委員の資質向上や委員相互の連携強化等を図るため、2地区合同で実施する合同定例会や6つの専門分野ごとに研修を行う事項別委員会を実施する外、PR活動として市や 社協の行事等への参加、学校訪問や一泊での県外研修などを実施しています。

近年では、少子高齢化や生活困窮、児童虐待などの問題に加え、自然災害の多発や地域社会の希薄化が進むなかで、問題や災害が発生した際に、民生委員・児童委員として地域や関係機関とどう関わりを持つていけるのかをしっかりと考えることが重要だと感じています。

今後も、高齢者や子どもたちをはじめとした地域住民に寄り添い、身近な存在として関係機関と連携しながら日々の活動に取り組んでいきたいと考えています。



事務局だより

祝受賞

この度、次の方が栄えある叙勲・褒章を受けられました。心からお祝い申し上げます。(敬称略)

○叙勲

瑞宝単光章

篠崎悦子(五霞町)

○褒章

藍綬褒章

大友博子(取手市)

令和元年度

一斉改選の状況について

茨城県保健福祉部福祉指導課から令和元年度一斉改選に関する資料を提供していただきましたので、ご紹介いたします。

県内の民生委員・児童委員の定数は、表1のとおり前回の平成28年度一斉改選時の5261名から30名増員されて5291名となりました。今回の改選では委嘱数が5140名で欠員が151名となりました。

定数に対する充足率は97・1%となり、前回改選時の充足率98・6%を下回る結果となりました。

表1 定数・委嘱数※()内は、H28年の定数

区分	定数 (H28)※	委嘱数	欠員
地区担当	4,965 (4,937)	4,821	144
主任児童委員	326 (324)	319	7
計	5,291 (5,261)	5,140	151

表2 平均年齢 (歳)

区分	平均 年齢	(H28 比較)
地区担当	67.2	66.5
主任児童委員	64.1	63.3
全体	67.0	66.3

平均年齢は表2のとおり地区担当民生委員・児童委員で67・2歳、主任児童委員で64・1歳といずれも前回改選時より上がりました。その結果、全体の平均年齢は67・0歳となり、前回改選時の66・3歳より0・7歳上がりました。

新任・再任別は、表3のとおり全体の委嘱数5140名のうち新任委員が1681名で構成比率は32・7%、再任委員が3452名で構成比率は67・2%、元委員が7名で構成比率は0・1%となりました。前回改選時と比較すると、新任委員の構成比率が少し下がったのに対し、再任委員の構成比率が少し上がりました。

表3 新任・再任別

区分	新任	再任	元	計
全体	1,681	3,452	7	5,140
(比率)	32.7%	67.2%	0.1%	100%
(H28 比率)	33.9%	66.0%	0.2%	100%

◎第88回全国民生委員児童委員大会について

令和元年10月17日(土)18日に福島県郡山市で開催が予定された第88回全国民生委員児童委員大会は、台風第19号の影響により急遽中止となりました。

編集後記

委員の皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。令和で初めての民生委員・児童委員の一斉改選により、新任の委員を迎えて、民児協活動が活発に展開されていることと存じます。そして、退任された皆様、長い間ご苦勞様でした。また、原稿をお寄せ下さいました皆様には心より厚くお礼申し上げます。

「民児協いばらき」も第84号を迎え県民協の行事、大会報告、各民児協だより等わかり易く参考になるよう編集してまいりました。

担当してまいりました私共も本号をもちまして任期満了となり、ご協力に心から感謝申し上げます。

編集委員長 黒田 伸治
副委員長 矢田 憲夫
委員 伊勢 重吉
委員 宇佐 秀夫
委員 坂野 弘行
委員 中村 秀夫
(矢田部 秀夫記)

発行人

一般財団法人

茨城県民生委員児童委員協議会
会長 竹内 昌信

〒310-0851

水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

TEL 029-243-5361

FAX 029-243-5902

http://www.ibaraki-minjikyo.or.jp

E-mail:iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp